

## 大牟田のESD この1年間を振り返って

3月1日、大牟田市は市制施行100周年を迎えました。この期に、「ユネスコスクールの日」が制定され、1月には記念式典が挙行されました。ユネスコスクールとしての活動を始めて約5年。大牟田市のESDの取組は、年々充実しています。市長を本部長としたESD推進本部やコンソーシアム等の組織もでき、まちを挙げての体制づくりが進んでいます。また、東京大学と海洋教育に係る協定を締結したり、各地で開かれているESDや世界遺産学習関係の研修会等で大牟田の実践を発表したりして、活動の場が広がっています。一方、各学校が地域の方々と協働した取組も充実してきました。

市民の方々へのユネスコスクール・ESDの認知度は、学校の取組を通して、高まっています。様々な方々と「つながり」「かかわる」ことを通して、明るい未来に向けての活動になることを願っています。

平成29年度の教育課程編成にあたっては、今年度の実践の反省をふまえて、取組のさらなる充実をめざし、計画の見直しを進めましょう。「今日よりいいアースへの学び」で、大牟田市の次の100年をつくりあげる人材を育てたいものです。團琢磨の志のように、胸が熱くなるものを感じつつ、本年度最終号といたします。

大牟田市公式キャラクター「ジャー坊」もESDを熱く応援しています⇒



## Our Miyanohara Coal Mine Pit Sites!



米生中学校では、宮原坑を英語で紹介する取組を行いました。Englishセミナーに参加している生徒が、外国の方々に自作のリーフレットをもとにジェスチャーを交えながら紹介。米生中初のガイドで、今後の活躍が楽しみです。外国の方への情報発信が期待されています。

## 中友小学校が表彰されました！



中友小学校が取り組んでいる「子ども民生委員活動」が、大牟田市地域福祉大会において、表彰をされました。子どもたちは、地域の方々と取り組んでいるこの活動を通して、地域を身近に感じ、人々とつながる大切さを実感したようです。

## 大牟田市立白光中学校の実践

### 白光タイムによる「つなぐ活動」の取組

#### ○第1学年:絵本教室、介護体験学習

絵本教室を通じた認知症学習や介護施設の訪問を行い、認知症の方や高齢者の方と触れ合いました。この学習では、地域のみんが安心して暮らすことのできる社会の実現について学びました。



#### ○第2学年:職場体験学習、世界遺産学習

職場体験学習を行い、自分や地域の将来について学びました。また郷土大牟田にある世界文化遺産について深く学ぶと共に、その価値をFMたんとの放送やショッピングモールやでの展示を通して発信しました。



#### ○第3学年:上級学校訪問、保育体験学習

上級学校を調べ、自分の進路選択や生き方について児との関わりを通して1年次の福祉学習を別の視点で学習し、地域で安心して暮らすことのできる社会の実現や自己の将来の家庭生活について学習しました。

これらの取組を通して、「コミュニケーションを行う力」、「他者と協力する態度」、「つながりを尊重する態度」、「進んで参加する態度」を育て、人間性豊かな生徒が育っていることを実感しています。

## 大牟田市立倉永小学校の実践

### 5年生「倉永 ふるさと 再発見」

私たちが住んでいる倉永校区には、たくさんの歴史的な史跡があります。私たちは、学校の「総合的な学習の時間」に一つ一つ調べました。「諏訪神社」は、100枚の百人一首が完全に揃って保存されています。「イボ観音」は、イボで苦しんだお姫様が「私が死んだら、イボで苦しむ人を治してあげる」と言って息を引き取ったという言い伝えがありました。

他にも、刀をつくる「四郎国光」、六地蔵の「法雲寺」など、たくさんの史跡や施設を調べ、「校区の史跡ポスター」や「環境ポスター」を作る活動を通して、校区の素晴らしさを感じることができました。

